

2013年3月期 第3四半期(2012年12月) 連結決算発表総合表

2013年2月5日

双日株式会社

決算の主要特徴点

◆ 欧州及び中国などの新興国における景気は依然厳しい状況が続くなか、国内では12月の政権交代を契機に円安、株高傾向に転じ回復の兆しも見え始めた。
当第3四半期の当社の業績は、取扱商品について需要の減少や価格の下落があった結果、売上高・売上総利益・経常利益ともに前年同期比で減収・減益となった。
当期純利益については、前年同期の税制改正による繰延税金資産の取り崩しの反動により、増益となった。
(括弧内は前年同期比増減)

売上高 2兆9,481億円 (-3,525億円 / -10.7%)
・煙草および水産品の取扱数量減少などによる生活産業の減収
・前年同期計上の大型プラント輸出取引の反動による機械の減収
・取扱数量減少や価格の下落などによるエネルギー・金属の減収

売上総利益 1,411億円 (-156億円 / -10.0%)
・取扱数量減少や価格の下落などによるエネルギー・金属の減益
・欧州・中国・アジア地域における需要減少などによる化学の減益

経常利益 198億円 (-187億円 / -48.7%)
・売上総利益の減益による営業利益の減益
・持分法による投資利益の減少

当期純利益 110億円 (+245億円 / -)
・経常利益は減益となるも前年同期の繰延税金資産の取り崩しの反動により増益

◆ 2013年3月期 通期業績見通し (2012年11月2日公表)

売上高 4兆1,000億円
営業利益 360億円
経常利益 320億円
当期純利益 100億円

(前提条件)
為替レート(年平均 ¥/US\$) : 79
原油(Brent)価格(年平均 US\$/BBL) : 110

◆ 2013年3月期 配当

中間配当 : 1株当たり 1円 50銭
期末配当(予想) : 1株当たり 1円 50銭

要約損益計算書

	当第3四半期			前年同期		左記○部分の主な内容	当期見通し	
	実績 a	上半期	第3四半期	実績 b	増減 a-b		c	進捗率 a/c
売上高	29,481	19,526	9,955	33,006	-3,525	売上高 生活産業セグメント -1,326 機械セグメント -795 エネルギー・金属セグメント -753 化学セグメント -633	41,000	72%
売上総利益 (売上総利益率)	1,411 (4.79%)	948 (4.86%)	463 (4.65%)	1,567 (4.75%)	-156 (0.04%)	売上総利益 エネルギー・金属セグメント -115 化学セグメント -43 機械セグメント -22 生活産業セグメント +6	1,940 (4.73%)	73%
人件費	-610	-402	-208	-601	-9			
物件費	-480	-321	-159	-471	-9			
減価償却費	-50	-34	-16	-45	-5			
(小計)	(-1,140)	(-757)	(-383)	(-1,117)	(-23)			
貸倒引当金繰入・貸倒償却	6	4	2	-23	29			
のれん償却額	-40	-27	-13	-41	1			
(販管費計)	(-1,174)	(-780)	(-394)	(-1,181)	(7)		-1,580	74%
営業利益 (営業利益率)	237 (0.80%)	168 (0.86%)	69 (0.69%)	386 (1.17%)	-149 (-0.37%)		360 (0.88%)	66%
受取利息	37	25	12	36	1			
支払利息	-159	-108	-51	-176	17			
(金融収支)	(-122)	(-83)	(-39)	(-140)	(18)			
受取当金	22	17	5	26	-4			
(金融収支)	(-100)	(-66)	(-34)	(-114)	(14)			
持分法による投資利益	50	43	7	101	-51	バイオエタノール生産会社(-21)、ニッケル製錬会社(-8)		
その他営業外収支	11	13	-2	12	-1			
(営業外収支計)	(-39)	(-10)	(-29)	(-1)	(-38)		-40	-
経常利益	198	158	40	385	-187		320	62%
固定資産売却益	13	12	1			海外事業投資の売却等		
投資有価証券等売却益 (特別利益小計)	82 (95)	57 (69)	25 (26)	(59)	(36)			
減損損失	-17	-4	-13					
投資有価証券等評価損失 訴訟等損失 関係会社等整理・引当損 その他特別損失 (特別損失小計)	-21 -6 -8 -3 (-55)	-117 -6 -2 -3 (-132)	96 - -6 0 (77)		(83)	株価下落による上場株式の評価損等		
(特別損益計)	(40)	(-63)	(103)	(-79)	(119)		(-80)	-
税金等調整前当期純利益	238	95	143	306	-68		240	99%
法人税等	-68	-57	-11	-99	31			
法人税等調整額 (法人税等合計)	-29 (-97)	16 (-41)	-45 (-56)	-318 (-417)	289 (320)	前年同期に税制改正による繰延税金資産の取り崩し		
少数株主損益調整前当期純利益	141	54	87	-111	252		135	104%
少数株主損益	-31	-24	-7	-24	-7			
当期純利益	110	30	80	-135	245		100	110%
基礎的収益力	181	141	40	396	-215			

要約貸借対照表と主要経営指標

	12/12末			12/3末			左記○部分の主な内容
	残高 d	残高 e	増減 d-e	残高	残高	増減	
流動資産	12,541	12,981	-440				
現金及び預金	4,199	4,427	-228				社債の償還等
受取手形及び売掛金	4,769	4,907	-138				化学品関連取引における減少等
有価証券	1	13	-12				
たな卸資産	2,714	2,706	8				
短期貸付金	52	57	-5				
繰延税金資産	62	46	16				
その他の流動資産	778	881	-103				取引前渡金の減少等
貸倒引当金	-34	-56	22				
固定資産	8,000	8,222	-222				
有形固定資産	2,395	2,333	62				
のれん	410	446	-36				
無形固定資産	839	799	40				
投資有価証券	2,983	3,139	-156				株価の変動による減少等
長期貸付金	245	224	21				
固定化営業債権	604	682	-78				
繰延税金資産	178	224	-46				
投資不動産	316	319	-3				
その他の投資	487	528	-41				
貸倒引当金	-457	-472	15				
繰延資産	2	3	-1				
資産合計	20,543	21,206	-663				
流動負債	8,988	9,474	-486				
支払手形及び買掛金	4,449	4,618	-169				化学品関連取引および石油関連取引における減少等
短期借入金	2,710	2,825	-115				1年内組替による増加および返済による減少
コマーシャル・パターナル	20	20	-				
1年内償還予定の社債	300	350	-50				償還(-350)、1年内組替(+300)
その他の流動負債	1,509	1,661	-152				取引前受金の減少等
固定負債	8,098	8,427	-329				
社債	600	800	-200				1年内組替(-300)、新規発行(+100)
長期借入金	6,788	6,910	-122				1年内組替による減少
退職給付引当金	156	142	14				
その他の固定負債	554	575	-21				
負債合計	17,086	17,901	-815				
資本金	1,603	1,603	-				
資本剰余金	1,522	1,522	-				
利益剰余金	1,595	1,517	78				当期純利益(110)、支払配当(-38)
自己株式	-2	-2	0				
(株主資本)	(4,718)	(4,640)	(78)				
その他有価証券評価差額金	33	76	-43				株価の変動による減少等
繰延ヘッジ損益	18	9	9				
土地再評価差額金	-22	-21	-1				
為替換算調整勘定	-1,554	-1,636	82				為替の変動による増加
在外会社の年金債務調整額 (その他の包括利益累計額)	-9 (-1,534)	-9 (-1,581)	0 (47)				
少数株主持分	273	246	27				
純資産合計	3,457	3,305	152				
負債・純資産合計	20,543	21,206	-663				
GROSS有利子負債	10,418	10,905	-487				
NET有利子負債	6,219	6,478	-259				
NET負債倍率	* 1.95倍	* 2.12倍	-0.17倍				* NET負債倍率の分母および自己資本比率の分子は、純資産から少数株主持分を除いて計算しております。
自己資本比率	* 15.5%	* 14.4%	1.1%				
流動比率	139.5%	137.0%	2.5%				
長期調達比率	70.9%	70.7%	0.2%				

要約包括利益計算書

	当第3四半期			前年同期	
	実績	上半期	第3四半期	実績	増減
少数株主損益調整前当期純利益	141	54	87	-111	
その他の包括利益	56	-170	226	-453	
包括利益	197	-116	313	-564	
(内訳)					
親会社株主に係る包括利益	158	-139	297	-582	
少数株主に係る包括利益	39	23	16	18	

キャッシュ・フローの状況

	当第3四半期		前年同期	
	実績	前年実績	実績	前年実績
営業活動によるCF	427	402		
投資活動によるCF	-160	-444		
(フリーCF合計)	(267)	(-42)		
財務活動によるCF	-581	-327		
現金及び現金同等物の期末残高	4,005	3,708		

(注1) 当期より、従来は「生活産業」の区分に属していましたが国内不動産関連事業を「その他」へ変更しております。また、従来の「化学品・機能素材」を「化学」へ変更しております。要約損益計算書におきましては、変更後の事業区分に基づき、各セグメントの増減額を記載しております。

(注2) 基礎的収益力
基礎的収益力 = 営業利益(貸倒引当金繰入・貸倒償却除前) + 金利収支 + 受取配当金 + 持分法による投資利益

(注3) 将来情報に関するご注意
上記の業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動など様々な要因により大きく異なる可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示にてお知らせいたします。

(単位:億円)

P/L

	12/12期 実績 (累計) (※1)	11/12期 実績 (累計) (※1)	増減	13/3期 見直し (12/11/2公表)	進捗率 (対見直し)
売上高	29,481	33,006	▲ 3,525	41,000	71.9%
売上総利益	1,411	1,567	▲ 156	1,940	72.7%
(売上総利益率)	(4.79%)	(4.75%)	(+0.04%)	(4.73%)	
機械	475	497	▲ 22	650	73.1%
エネルギー・金属	244	359	▲ 115	320	76.3%
化学	254	297	▲ 43	370	68.6%
生活産業	386	380	+ 6	545	70.8%
その他	52	34	+ 18	55	94.5%
販売費	▲ 1,174	▲ 1,181	+ 7	▲ 1,580	74.3%
営業利益	237	386	▲ 149	360	65.8%
(営業利益率)	(0.80%)	(1.17%)	(▲0.37%)	(0.88%)	
営業外収支	▲ 39	▲ 1	▲ 38	▲ 40	-
経常利益	198	385	▲ 187	320	61.9%
(経常利益率)	(0.67%)	(1.17%)	(▲0.50%)	(0.78%)	
機械	14	64	▲ 50	50	28.0%
エネルギー・金属	27	165	▲ 138	80	33.8%
化学	45	79	▲ 34	80	56.3%
生活産業	88	76	+ 12	110	80.0%
その他	24	1	+ 23	0	-
特別損益	40	▲ 79	+ 119	▲ 80	-
税金等調整前当期純利益	238	306	▲ 68	240	99.2%
少数株主損益調整前当期純利益	141	▲ 111	+ 252	135	104.4%
当期純利益	110	▲ 135	+ 245	100	110.0%
機械	18	27	▲ 9	30	60.0%
エネルギー・金属	17	146	▲ 129	30	56.7%
化学	19	47	▲ 28	45	42.2%
生活産業	49	21	+ 28	60	81.7%
その他	7	▲ 376	+ 383	▲ 65	-
基礎的収益力(※2)	181	396	▲ 215	335	

(※1) 当期より、従来は「生活産業」の区分に属しておりました国内不動産関連事業を「その他」へ変更しております。また、従来の「化学品・機能素材」を「化学」へ変更しております。「11/12期」の実績につきましても、変更後の事業区分に基づき記載しております。

(※2) 基礎的収益力=営業利益(貸倒引当金繰入・貸倒償却控除前)+金利収支+受取配当金+持分法による投資利益

(単位:億円)

B/S

	12/12末	12/3末	増減	13/3末 修正見直し (13/2/5公表)
総資産	20,543	21,206	▲ 663	20,600
自己資本(※3)	3,184	3,059	+ 125	3,150
(純資産合計)	(3,457)	(3,305)	(+ 152)	-
自己資本比率	15.5%	14.4%	+ 1.1%	15.3%
ネット有利子負債	6,219	6,478	▲ 259	6,400
ネットDER(倍)	1.95	2.12	▲ 0.17	2.0
(ネットDER(倍) 純資産合計ベース)	(1.80)	(1.96)	(▲ 0.16)	-
リスクアセット	2,900	3,000	▲ 100	-
リスクアセット/自己資本(倍)	0.9	1.0	▲ 0.1	-

(※3) 自己資本=純資産-少数株主持分

(※4) 将来情報に関するご注意

上記の業績見直しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動など様々な要因により大きく異なる可能性があります。重要な変更事象が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。

前年同期比増減要因

- 機械部門
 - ・海外の一部自動車事業会社で販売台数は増加するも販管費増加等の影響を受けたほか、プラント関連・船舶関連取引の減少もあり減益
- エネルギー・金属部門
 - ・金属資源価格下落の影響、一部権益の生産量減少・コスト増加等により売上総利益は減益
 - ・バイオエタノール生産会社やニッケル製錬会社等の持分法投資利益が減少し、経常利益、当期純利益も減益
- 化学部門
 - ・欧州・中国・アジアを中心とした需要減少による取扱数量減少、販売価格下落等により減益
- 生活産業部門
 - ・海外肥料事業における取扱数量増加、海外工業団地案件の収益寄与等により増益
- その他
 - ・前年同期に不動産関連の評価損計上があったほか、繰延税金資産の取り崩しがあった影響により増益

足元の状況

- 機械部門
 - ・海外の一部地域の自動車事業は好調なるも、プラント関連・IT関連取引の低調な進捗により、全体として通期見直しに対し厳しい進捗
- エネルギー・金属部門
 - ・原油価格は堅調に推移するも、金属資源価格低迷等の影響を受け、通期見直しに対する進捗は低調
- 化学部門
 - ・メタノール事業は引き続き好調に推移しているものの、その他商品の需要低迷による取扱数量減少が響き、通期見直しに対し低進捗
- 生活産業部門
 - ・海外肥料事業、海外工業団地関連を中心に堅調を維持しており、通期見直しを上回るペースで進捗
- その他
 - ・見直しに対して順調な進捗

商品市況・為替

	2011年市況実績 (年平均)	2012年度市況前提 (下期)	2012年度市況実績 (12年4~9月平均)	2012年度市況実績 (12年10~12月平均)	2012年度市況実績 (12年4~12月平均)
原油(Brent)(※1) (\$/bbl)	\$111.3/bbl	\$110/bbl	\$109.0/bbl	\$110.1/bbl	\$109.3/bbl
石炭(一般炭) (\$/トン)	\$121.3/t	\$96.5/t	\$93.1/t	\$89.6/t	\$91.9/t
モリブデン (\$/ポンド)	\$15.5/lb	\$13.8/lb	\$12.9/lb	\$11.2/lb	\$12.3/lb
ニッケル(※2) (\$/ポンド)	\$10.4/lb	\$8.0/lb	1~6月平均 \$8.3/lb	7~9月平均 \$7.4/lb	1~9月平均 \$8.0/lb
銅(※2) (\$/トン)	\$8,821/t	\$7,690/t	1~6月平均 \$8,090/t	7~9月平均 \$7,718/t	1~9月平均 \$7,966/t
為替(※3) (¥/\$)	¥79.5/\$	¥79.0/\$(*4)	¥79.0/\$	¥82.8/\$	¥80.2/\$

(※1) 原油の収益感応度 \$1/bbl変動すると、経常利益で約2億円の影響

(※2) ニッケル、銅については1月~12月の平均市況を記載

(※3) 為替の収益感応度(米ドルのみ) ¥1/\$変動すると、売上高で50億円程度、経常利益で2億円程度、自己資本で12億円程度の影響

(※4) 為替レートは年平均

平成25年2月5日

上場取引所 東大

上場会社名 双日株式会社

コード番号 2768 URL <http://www.sojitz.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 洋二

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長

(氏名) 原田 信二

TEL 03-6871-3404

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,948,144	△10.7	23,710	△38.6	19,753	△48.7	11,038	—
24年3月期第3四半期	3,300,577	11.5	38,605	38.0	38,474	13.9	△13,458	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 19,701百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △56,403百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第3四半期	8.82	8.82
24年3月期第3四半期	△10.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,054,315	345,750	15.5
24年3月期	2,120,596	330,471	14.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 318,386百万円 24年3月期 305,905百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	1.50	—	1.50	3.00
25年3月期	—	1.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	4,100,000	△8.8	36,000	△44.2	32,000	△48.6	10,000	—	7.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、(添付資料)6ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	1,251,499,501 株	24年3月期	1,251,499,501 株
----------	-----------------	--------	-----------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	479,735 株	24年3月期	475,587 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	1,251,021,839 株	24年3月期3Q	1,251,033,131 株
----------	-----------------	----------	-----------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動など様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

決算補足説明資料、ならびに本日2月5日(火)開催のアナリスト・機関投資家向けの第3四半期決算説明会(ネットカンファレンス)の説明内容(音声)および主な質疑応答につきましては、速やかに当社ウェブサイトに掲載致します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

経済環境

当連結会計年度の第3四半期連結累計期間（平成24年4月～12月）は、世界経済の伸び悩みが続きましたが、日米欧各国が強力な金融緩和などの施策をコミットしたことにより、底割れ懸念がやや後退しました。

米国は、金融緩和策が継続されたこと、住宅着工件数の漸増などから緩やかな景気回復の傾向にありますが、「財政の崖」問題は債務上限について債務不履行を回避する動きがあるものの、不確実性が残る状態となっています。

ユーロ圏は、銀行監督の一元化についても方向性が出るなど、最悪期を脱したとの見方が広がっていますが、依然回復には至っていません。その為、欧州向けの輸出割合が多い新興国では引き続き輸出が低迷し、これらに伴い資源国では資源価格の下落による影響などから成長率の鈍化傾向が続きました。

中国においては社会資本形成への投資などにより景気の下支えが見られ、年末には緩やかな持ち直しの傾向がみられました。

日本経済は、欧州の経済停滞から中国・アジア向けの中間財輸出が不振となり、更に9月から10月にかけての中国における反日運動により自動車を中心として中国向け製品輸出が大幅な落ち込みとなりました。これらにより国内の景況感は一息悪化しましたが、10月辺りを底として鉱工業生産や消費などの指標で回復の兆しが見られ、12月の衆議院選挙で自民党が圧勝すると、日本銀行による大幅な金融緩和への期待から為替相場は円安傾向に転じ、円安による輸出企業の業績回復や大型補正予算による公共事業への期待などから、株式市場も上昇しました。

当社グループの業績

当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績につきましては、次のとおりであります。

売上高	煙草及び水産品の取扱い数量減少などによる生活産業の減収、前年同期計上の大型プラント輸出取引の反動による機械の減収、取扱い数量減少や価格の下落などによるエネルギー・金属の減収、欧州・中国・アジア地域における需要減少などによる化学の減収により、2兆9,481億44百万円と前年同期比10.7%の減収となりました。
売上総利益	取扱い数量減少や価格の下落などによるエネルギー・金属の減益や、欧州・中国・アジア地域における需要減少などによる化学の減益などにより、前年同期比156億25百万円減少の1,410億77百万円となりました。
営業利益	売上総利益の減益により前年同期比148億95百万円減少の237億10百万円となりました。
経常利益	営業利益の減益に加え、バイオエタノール生産会社及びニッケル製錬会社など持分法による投資利益の減少があったことにより前年同期比187億21百万円減少の197億53百万円となりました。

特別損益	特別利益として投資有価証券売却益 46 億 42 百万円、出資金売却益 34 億 85 百万円など合計 94 億 74 百万円を計上し、特別損失として上場株式の株価下落などによる投資有価証券等評価損 21 億 6 百万円、減損損失 17 億 15 百万円など合計 54 億 65 百万円を計上した結果、特別損益合計は 40 億 9 百万円の利益となりました。
四半期純利益	税金等調整前四半期純利益 237 億 62 百万円から、法人税、住民税及び事業税 67 億 68 百万円、法人税等調整額 29 億 24 百万円を計上した結果、少数株主損益調整前四半期純利益は 140 億 69 百万円となりました。また、少数株主損益調整前四半期純利益から少数株主利益 30 億 30 百万円を控除した結果、四半期純利益は前年同期比 244 億 96 百万円改善し、110 億 38 百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より、従来は「生活産業」の区分に属していた国内不動産関連事業を、「その他」へ事業区分を変更しております。また、従来の「化学品・機能素材」を「化学」へ変更しております。

機械

自動車輸出取引の増加がありましたが、プラント輸取出引や船舶関連取引の減少などがあったことにより、売上高は 6,486 億 15 百万円と前年同期比 10.9%の減収となりました。四半期純利益も前年同期比 8 億 25 百万円減少し、18 億 48 百万円となりました。

エネルギー・金属

取扱い数量減少や価格の下落などにより、売上高は 7,032 億 98 百万円と前年同期比 9.7%の減収となりました。営業利益の減益に加え、バイオエタノール生産会社やニッケル製錬会社などの持分法による投資利益の減少により、四半期純利益は前年同期比 128 億 73 百万円減少し、17 億 21 百万円となりました。

化学

欧州・中国・アジア地域における需要減少などにより、売上高は 4,235 億 59 百万円と前年同期比 13.0%の減収となりました。四半期純利益も前年同期比 28 億 2 百万円減少の 19 億 14 百万円となりました。

生活産業

煙草及び水産品の取扱い数量減少などにより、売上高は 1 兆 1,330 億 22 百万円と前年同期比 10.5%の減収となりました。海外肥料事業及び海外工業団地案件における増益により、四半期純利益は前年同期比 28 億 57 百万円増加の 49 億 40 百万円となりました。

その他

売上高は 396 億 47 百万円と前年同期比 3.8%の減収となりましたが、前年同期に不動産関連の評価損を計上した影響などにより、四半期純損失は前年同期比 13 億 10 百万円改善し、2 億 42 百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1. 連結バランスシートの状況

当第3四半期連結会計期間末は、有形固定資産が事業会社における設備投資などにより前期末比61億98百万円増加しました。一方、現金及び預金が社債の償還などにより前期末比227億82百万円減少、受取手形及び売掛金は化学品関連取引における減少などにより前期末比138億20百万円減少、投資有価証券が株価の変動による減少などで前期末比156億41百万円減少した結果、資産合計は前期末比662億81百万円減少の2兆543億15百万円となりました。

負債については、支払手形及び買掛金が化学品及び石油関連取引における減少などにより前期末比168億5百万円減少したこと、社債の償還や借入金の返済などで有利子負債が減少したことにより、負債合計は前期末比815億60百万円減少の1兆7,085億65百万円となりました。

純資産については、株価の変動などによりその他有価証券評価差額金が前期末比43億68百万円減少しましたが、為替の変動により為替換算調整勘定が前期末比82億21百万円増加し、少数株主持分を合計した純資産合計は前期末比152億79百万円増加の3,457億50百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の流動比率は140%、長期調達比率は71%となりました。また、有利子負債総額から現金及び預金を差引いたネット有利子負債は前期末比260億21百万円減少の6,218億15百万円となり、ネット有利子負債倍率は2.0倍となりました。

なお、資金調達については、「中期経営計画2014」におきましても、従来と同様に、資金調達構造の安定性維持・向上を財務戦略の基本方針としております。引き続き目標とする長期調達比率を維持することで安定的な資金調達構造の構築を図るとともに、経済・金融環境の変化に備えて十分な手元流動性を確保することにより、安定した財務基盤の維持に努めております。

長期資金調達手段の一つである普通社債発行につきましては平成24年7月に100億円を発行致しましたが、引き続き金利や市場動向を注視し適切なタイミング、コストでの起債を検討して参ります。

また、資金調達の機動性及び流動性確保の補完機能を高める為、円貨1,000億円及びマルチカレンシー型3億米ドル相当額のコミットメントライン契約を維持しております。

2. 連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローは426億96百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは159億61百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは580億51百万円の支出となりました。これに現金及び現金同等物に係る換算差額を調整した結果、当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は4,004億70百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動による資金は426億96百万円の収入となり、前年同期比24億74百万円の収入増加となりました。仕入債務の減少などがありましたが、税金等調整前四半期純利益や売上債権の減少などによる収入が支出を上回りました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動による資金は159億61百万円の支出となり、前年同期比284億75百万円の支出減少となりました。投資有価証券や航空機の売却などの収入がありましたが、権益関連の設備投資や船舶の購入などの支出が収入を上回りました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動による資金は580億51百万円の支出となり、前年同期比253億69百万円の支出増加となりました。借入金の調達や社債の発行などの収入がありましたが、長期借入金の返済や社債の償還などの支出が収入を上回りました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月8日に公表しました期初業績予想を、平成24年11月2日の第2四半期決算公表時に、第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、修正しております。

なお、修正後の業績予想におきましては以下を前提条件としております。

- ・ 為替レート（年平均 ¥/US\$）：79円
- ・ 原油価格（Brent）（年平均 US\$/BBL）：US\$110

※将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動など様々な要因により大きく異なる可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更に伴う影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	442,706	419,924
受取手形及び売掛金	490,708	476,888
有価証券	1,297	100
たな卸資産	270,645	271,381
短期貸付金	5,667	5,181
繰延税金資産	4,577	6,240
その他	88,132	77,827
貸倒引当金	△5,583	△3,402
流動資産合計	1,298,151	1,254,140
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	116,084	120,629
減価償却累計額	△57,457	△58,182
建物及び構築物(純額)	58,626	62,446
機械装置及び運搬具	168,030	190,909
減価償却累計額	△81,810	△85,897
機械装置及び運搬具(純額)	86,220	105,011
土地	53,429	52,087
建設仮勘定	26,169	9,152
その他	22,431	25,685
減価償却累計額	△13,616	△14,924
その他(純額)	8,814	10,760
有形固定資産合計	233,260	239,458
無形固定資産		
のれん	44,612	41,027
その他	79,884	83,871
無形固定資産合計	124,497	124,898
投資その他の資産		
投資有価証券	313,897	298,256
長期貸付金	22,415	24,527
固定化営業債権	68,164	60,412
繰延税金資産	22,442	17,776
投資不動産	31,934	31,636
その他	52,788	48,704
貸倒引当金	△47,223	△45,714
投資その他の資産合計	464,419	435,598
固定資産合計	822,177	799,956
繰延資産		
その他	266	219
繰延資産合計	266	219
資産合計	2,120,596	2,054,315

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	461,799	444,994
短期借入金	282,524	270,975
コマーシャル・ペーパー	2,000	2,000
1年内償還予定の社債	35,000	30,000
未払法人税等	8,850	5,940
繰延税金負債	87	59
賞与引当金	6,254	3,445
その他	150,906	141,414
流動負債合計	947,422	898,830
固定負債		
社債	80,000	60,000
長期借入金	691,018	678,764
繰延税金負債	20,596	20,256
再評価に係る繰延税金負債	696	672
退職給付引当金	14,232	15,551
役員退職慰労引当金	648	617
その他	35,509	33,873
固定負債合計	842,702	809,735
負債合計	1,790,125	1,708,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	160,339	160,339
資本剰余金	152,160	152,160
利益剰余金	151,706	159,551
自己株式	△179	△179
株主資本合計	464,026	471,871
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,626	3,258
繰延ヘッジ損益	935	1,803
土地再評価差額金	△2,120	△2,161
為替換算調整勘定	△163,686	△155,465
在外会社の年金債務調整額	△875	△919
その他の包括利益累計額合計	△158,121	△153,485
少数株主持分	24,565	27,363
純資産合計	330,471	345,750
負債純資産合計	2,120,596	2,054,315

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	3,300,577	2,948,144
売上原価	3,143,875	2,807,067
売上総利益	156,702	141,077
販売費及び一般管理費	118,097	117,366
営業利益	38,605	23,710
営業外収益		
受取利息	3,607	3,729
受取配当金	2,589	2,201
持分法による投資利益	10,092	5,019
為替差益	—	4,004
その他	9,657	8,086
営業外収益合計	25,947	23,041
営業外費用		
支払利息	17,628	15,932
コマーシャル・ペーパー利息	4	3
為替差損	3,078	—
デリバティブ評価損	—	6,438
その他	5,367	4,624
営業外費用合計	26,078	26,999
経常利益	38,474	19,753
特別利益		
固定資産売却益	2,377	1,302
投資有価証券売却益	3,271	4,642
出資金売却益	213	3,485
持分変動利益	6	5
負ののれん発生益	—	38
特別利益合計	5,868	9,474
特別損失		
固定資産除売却損	438	253
減損損失	1,574	1,715
投資有価証券売却損	75	30
出資金売却損	5	—
投資有価証券等評価損	6,294	2,106
持分変動損失	205	17
関係会社等整理・引当損	2,637	759
訴訟損失引当金繰入額	2,500	—
訴訟等損失	—	582
特別損失合計	13,731	5,465
税金等調整前四半期純利益	30,612	23,762
法人税、住民税及び事業税	9,887	6,768
法人税等調整額	31,829	2,924
法人税等合計	41,716	9,693
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△11,104	14,069
少数株主利益	2,354	3,030
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,458	11,038

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△11,104	14,069
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,874	△3,050
繰延ヘッジ損益	△1,942	1,052
土地再評価差額金	77	—
為替換算調整勘定	△14,767	9,356
在外会社の年金債務調整額	△45	△44
持分法適用会社に対する持分相当額	△18,745	△1,681
その他の包括利益合計	△45,299	5,632
四半期包括利益	△56,403	19,701
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△58,158	15,846
少数株主に係る四半期包括利益	1,754	3,855

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	30,612	23,762
減価償却費	23,033	21,907
減損損失	1,574	1,715
投資有価証券等評価損	6,294	2,106
のれん償却額	3,662	3,604
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12,975	△3,857
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	820	1,114
受取利息及び受取配当金	△6,196	△5,931
支払利息	17,633	15,936
為替差損益 (△は益)	4,010	△2,780
持分法による投資損益 (△は益)	△10,092	△5,019
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,205	△8,085
固定資産除売却損益 (△は益)	△1,939	△1,048
売上債権の増減額 (△は増加)	△47,123	18,756
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△18,140	2,711
仕入債務の増減額 (△は減少)	48,185	△21,603
その他	19,105	11,762
小計	55,257	55,050
利息及び配当金の受取額	14,281	14,972
利息の支払額	△17,064	△15,006
訴訟関連損失の支払額	—	△3,082
法人税等の支払額	△12,252	△9,238
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,222	42,696
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△8,707	△2,594
有価証券の増減額 (△は増加)	△1,315	11
有形固定資産の取得による支出	△25,873	△21,226
有形固定資産の売却による収入	4,529	8,576
無形固定資産の取得による支出	△6,656	△6,930
投資有価証券の取得による支出	△3,156	△1,873
投資有価証券の売却及び償還による収入	8,063	14,762
短期貸付金の増減額 (△は増加)	3,609	250
長期貸付けによる支出	△12,250	△3,957
長期貸付金の回収による収入	517	1,097
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,030	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△719	△4,161
その他	△445	85
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,436	△15,961

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	12,389	△5,647
長期借入れによる収入	72,763	129,313
長期借入金の返済による支出	△94,892	△151,615
社債の発行による収入	29,847	9,953
社債の償還による支出	△47,719	△35,000
少数株主からの払込みによる収入	19	68
配当金の支払額	△3,753	△3,753
少数株主への配当金の支払額	△463	△163
その他	△873	△1,208
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,682	△58,051
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,602	4,512
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△44,498	△26,803
現金及び現金同等物の期首残高	415,261	427,274
現金及び現金同等物の四半期末残高	370,763	400,470

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及びセグメント利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	機械	エネルギー・ 金属	化学	生活産業	計				
売上高及びセグメント利益又は損失(△)									
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	728,209	778,608	486,933	1,265,616	3,259,367	41,210	3,300,577	-	3,300,577
(2)セグメント間の内部売上高	2,290	1,067	3,727	2,112	9,198	2,815	12,013	△12,013	-
計	730,500	779,675	490,660	1,267,728	3,268,565	44,025	3,312,591	△12,013	3,300,577
セグメント利益又は損失(△)	2,673	14,594	4,716	2,083	24,067	△1,552	22,514	△35,973	△13,458

- (注) 1. その他には、職能サービス、国内地域法人、物流・保険サービス事業、ベンチャーキャピタル、航空機リース、不動産等各種事業(投資、売買、賃貸、管理等)、商業施設運営事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△35,973百万円には、当社において発生する実際の税金費用と社内で設定している計算方法により各セグメントに配分した税金費用との差異△33,225百万円、各セグメントに配分していない全社資産に関わる投資有価証券等評価損等△2,749百万円が含まれております。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の四半期純利益をもとに調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	機械	エネルギー・ 金属	化学	生活産業	計				
売上高及びセグメント利益又は損失(△)									
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	648,615	703,298	423,559	1,133,022	2,908,496	39,647	2,948,144	-	2,948,144
(2)セグメント間の内部売上高	1,161	741	3,588	2,779	8,270	3,615	11,885	△11,885	-
計	649,777	704,039	427,147	1,135,802	2,916,766	43,263	2,960,029	△11,885	2,948,144
セグメント利益又は損失(△)	1,848	1,721	1,914	4,940	10,425	△242	10,182	856	11,038

- (注) 1. その他には、職能サービス、国内地域法人、物流・保険サービス事業、航空機リース、不動産等各種事業(投資、売買、賃貸、管理等)、商業施設運営事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額856百万円には、当社において発生する実際の税金費用と社内で設定している計算方法により各セグメントに配分した税金費用との差異238百万円、各セグメントに配分していない全社資産に関わる受取配当金349百万円及び投資有価証券売却益等268百万円が含まれております。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の四半期純利益をもとに調整を行っております。

(報告区分の方法の変更)

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より、従来は「生活産業」の区分に属していた国内不動産関連事業を、収益基盤の改善及び機能強化を目的とする再編により、「その他」の区分に変更しております。

また、従来の「化学品・機能素材」を「化学」へ変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の区分で表示しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。

2013年3月期第3四半期決算(参考資料)

2013年2月5日
双日株式会社

■ 目次

- I. 2013年3月期第3四半期決算実績
- II. 事業セグメント別情報
- III. 資源関連
- IV. 決算実績サマリー

将来情報に関するご注意

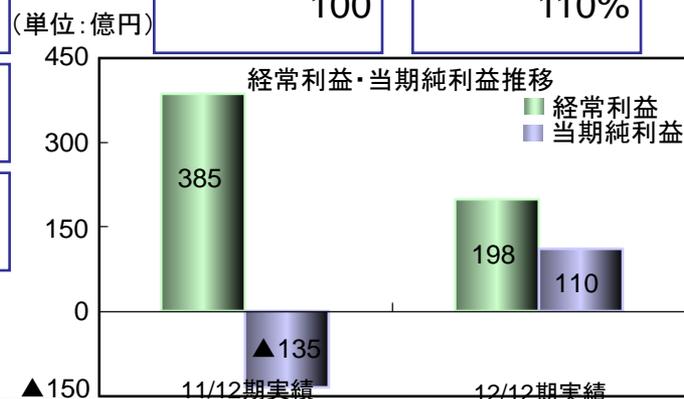
資料に記載されている業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動など様々な要因により大きく異なる可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。

I. 2013年3月期第3四半期決算実績

■ 2013年3月期第3四半期実績 PLサマリー

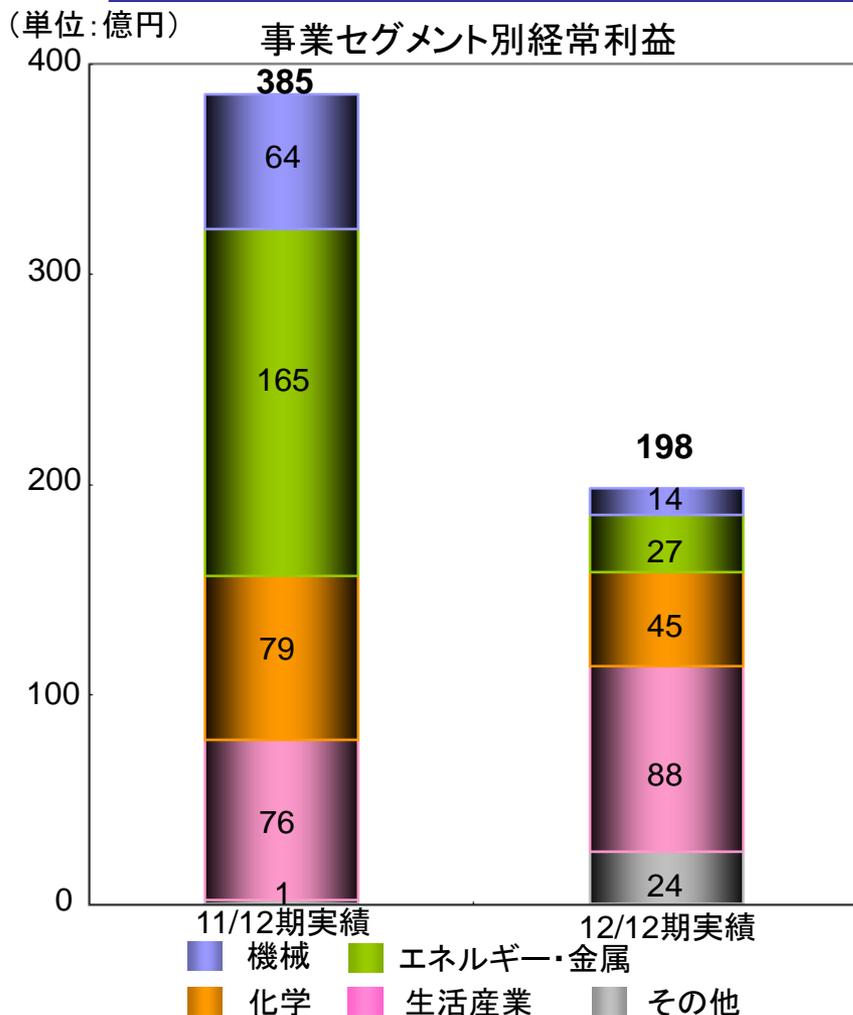
需要減少や価格下落により対前年同期比で減収・減益
 (前年同期に繰延税金資産取り崩しの影響等があった当期純利益、包括利益を除く)

(単位:億円)	11/12期実績	12/12期実績	前年同期比 増減	13/3期見通し	進捗率
売上高	33,006	29,481	▲3,525	41,000	72%
売上総利益	1,567	1,411	▲156	1,940	73%
営業利益	386	237	▲149	360	66%
経常利益	385	198	▲187	320	62%
当期純利益	▲135	110	245	100	110%
包括利益	▲564	197	761		
基礎的収益力	396	181	▲215		



■ 2013年3月期第3四半期実績(事業セグメント別経常利益)

生活産業を除く営業セグメントは対前年同期比で減益

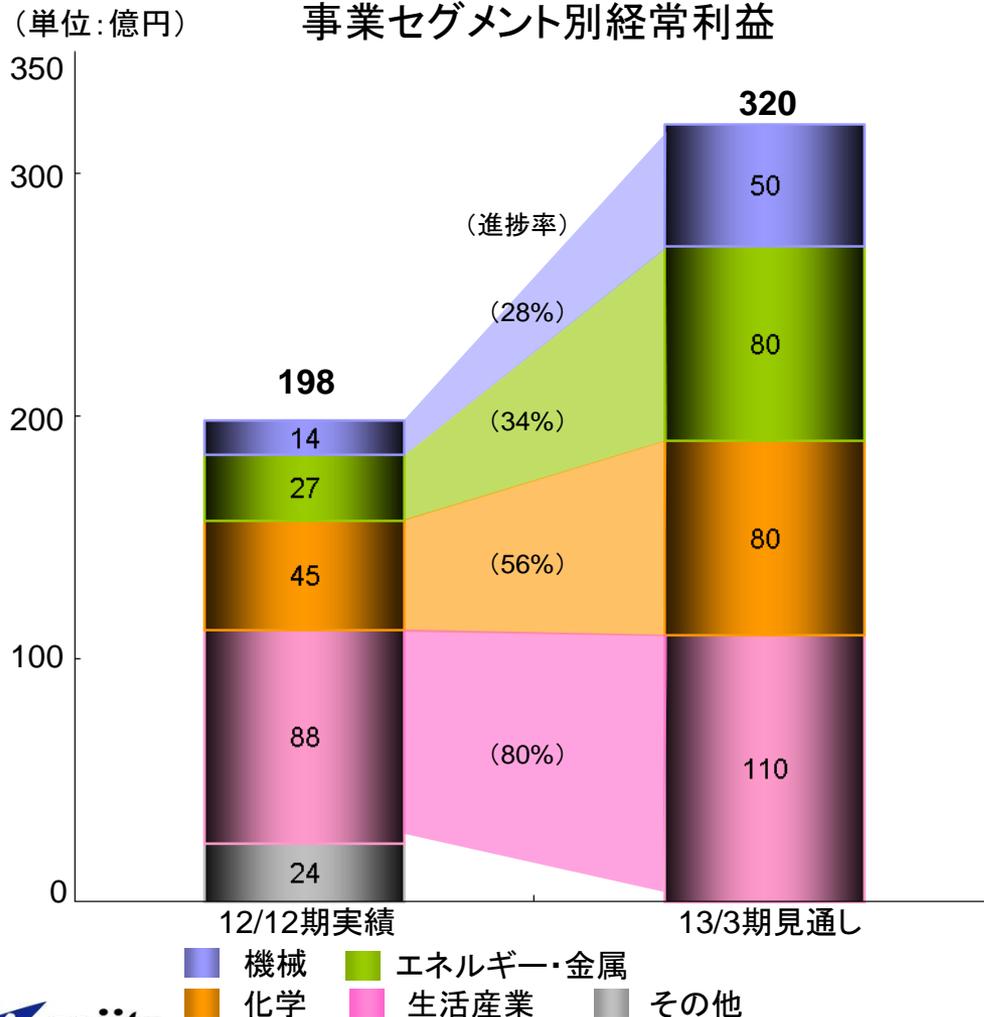


前年同期比増減要因

- **機械 14億円** (前年同期比78%減)
海外の一部自動車事業会社で販売台数は増加するも販管費増加等の影響を受けたほか、プラント関連・船舶関連取引の減少もあり減益
- **エネルギー・金属 27億円** (前年同期比84%減)
持分法投資利益の減少、金属資源関連の市況下落等により減益
- **化学 45億円** (前年同期比43%減)
欧州・中国・アジア等の需要減少による取扱数量減少、販売価格下落等により減益
- **生活産業 88億円** (前年同期比16%増)
海外肥料事業における取扱数量増加や海外工業団地案件の収益貢献により増益
- **その他 24億円** (前年同期比2,300%増)
前年同期に不動産関連の評価損計上があった影響により増益

■ 2013年3月期通期見通し(事業セグメント別経常利益)

生活産業は好調なるも、その他の営業セグメントは低調な進捗



業績進捗

- **機械**(14億円 進捗率28%)
海外の一部地域の自動車事業は好調なるも、プラント関連・IT関連取引の低調な進捗により、全体として通期見通しに対し厳しい進捗
- **エネルギー・金属**(27億円 進捗率34%)
一部商品の価格低迷等により、通期見通しに対する進捗は低調
- **化学**(45億円 進捗率56%)
メタノール事業は好調に推移するも、その他商品の需要低迷による取扱数量減少が響き、通期見通しに対する進捗は低調
- **生活産業**(88億円 進捗率80%)
海外肥料事業、海外工業団地事業等を中心に堅調に推移
- **その他**(24億円 進捗率-)
見通しに対して順調な進捗

■ 2013年3月期第3四半期実績 BSサマリー

財務健全性を維持

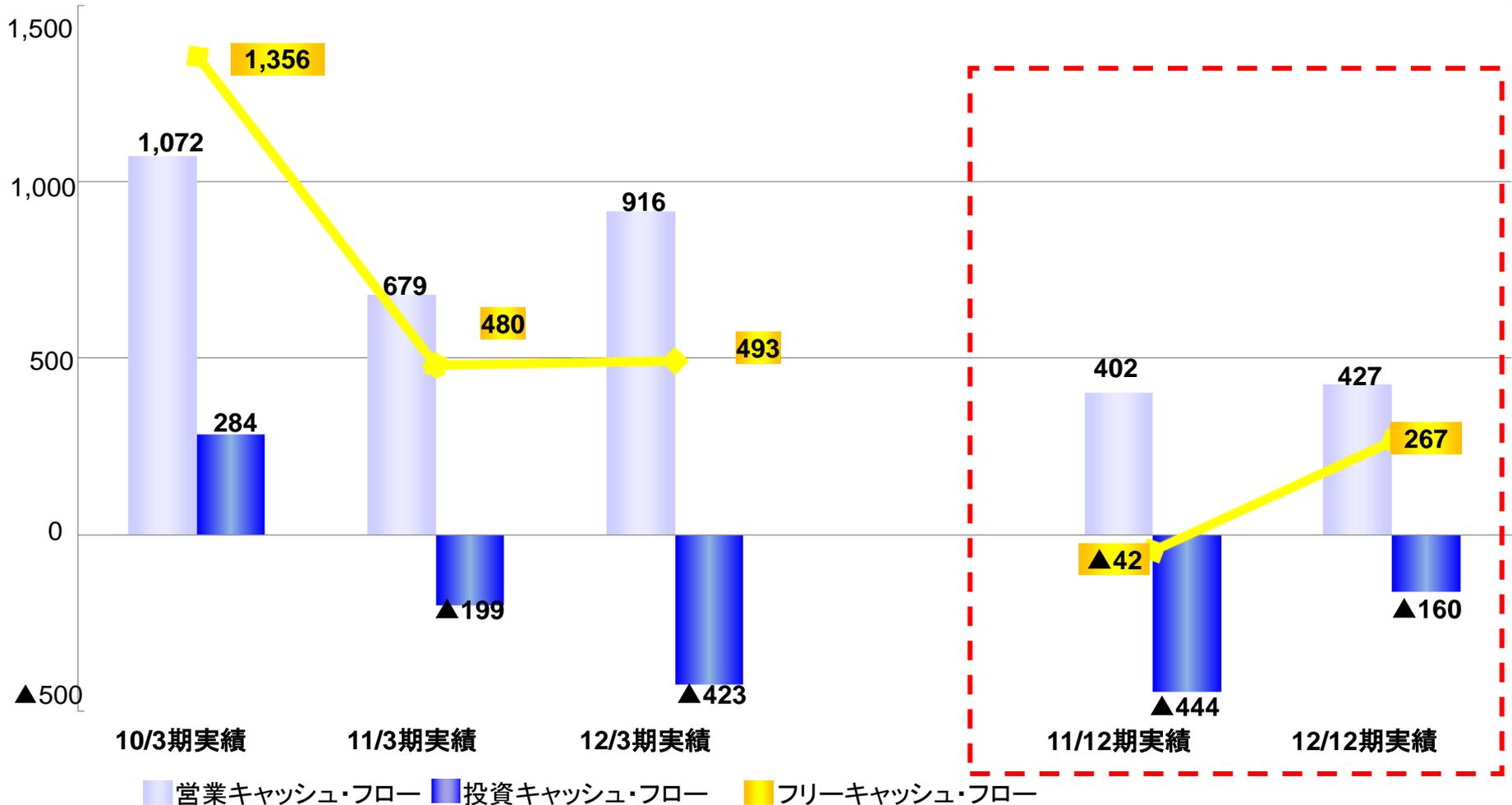
(単位:億円)

	12/12末	12/3末	増減額		12/12末	12/3末	増減額	
流動資産	12,541	12,981	▲440	有利子負債	短期	3,030	3,195	▲165
					長期	7,388	7,710	▲322
				その他負債	6,668	6,996	▲328	
投資、 その他資産	8,002	8,225	▲223	自己資本(※) (純資産合計)	3,184 (3,457)	3,059 (3,305)	+125 (+152)	
資産合計	20,543	21,206	▲663	負債・純資産合計	20,543	21,206	▲663	
リスクアセット (自己資本対比)	2,900 (0.9倍)	3,000 (1.0倍)	▲100 (▲0.1倍)	自己資本比率 (%)	15.5%	14.4%	+1.1%	
流動比率(%)	140%	137%	+3%	ネット有利子負債	6,219	6,478	▲259	
長期調達比率 (%)	71%	71%	0%	ネットDER(倍) (ネットDER(倍) 純資産合計ベース)	2.0 (1.8)	2.1 (2.0)	▲0.1 (▲0.2)	

(※) 自己資本=純資産合計-少数株主持分

■ 2013年3月期第3四半期 キャッシュ・フロー

(単位:億円)



■ 商品、為替、金利の市況実績

	2011年 市況実績 (1-12月平均)	2012年度 市況前提 (下期)	2012年度 市況実績 (4-9月平均)	2012年度 市況実績 (10-12月平均)	2012年度 市況実績 (4-12月平均)
原油(Brent)(※1)	\$111.3/bbl	\$110/bbl	\$109.0/bbl	\$110.1/bbl	\$109.3/bbl
石炭(一般炭)	\$121.3/t	\$96.5/t	\$93.1/t	\$89.6/t	\$91.9/t
モリブデン	\$15.5/lb	\$13.8/lb	\$12.9/lb	\$11.2/lb	\$12.3/lb
ニッケル(※2)	\$10.4/lb	\$8.0/lb	1-6月平均 \$8.3/lb	7-9月平均 \$7.4/lb	1-9月平均 \$8.0/lb
銅(※2)	\$8,821/t	\$7,690/t	1-6月平均 \$8,090/t	7-9月平均 \$7,718/t	1-9月平均 \$7,966/t
為替(※3)	¥79.5/\$	¥79.0/(※5)	¥79.0/\$	¥82.8/\$	¥80.2/\$
金利 (TIBOR)(※4)	0.34%	0.4%	0.34%	0.32%	0.33%

※1 原油の収益感応度 \$1/bbl変動すると、経常利益で約2億円の影響

※2 ニッケル、銅については1月～12月の市況平均を記載

※3 為替(米ドルのみ)の収益感応度 ¥1/US\$ 変動すると、売上高で50億円程度、経常利益で2億円程度、自己資本で12億円程度の影響

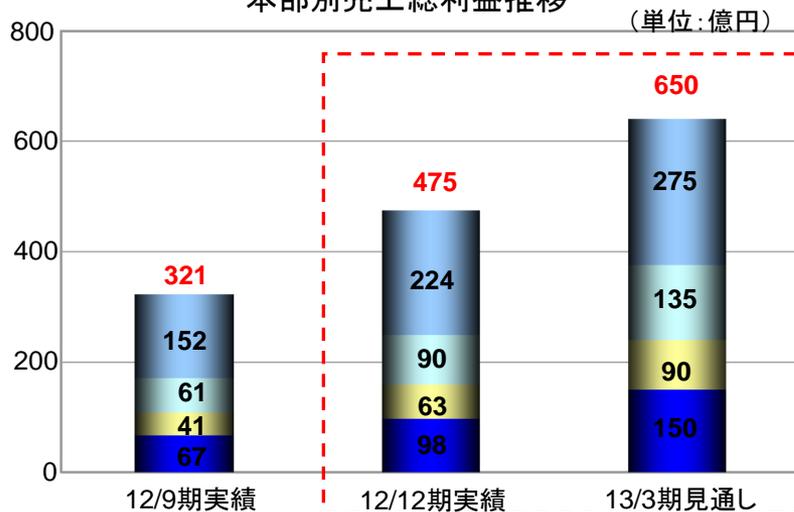
※4 金利の収益感応度 1%上昇すると、年間+20億円程度の影響

※5 為替レートは年平均

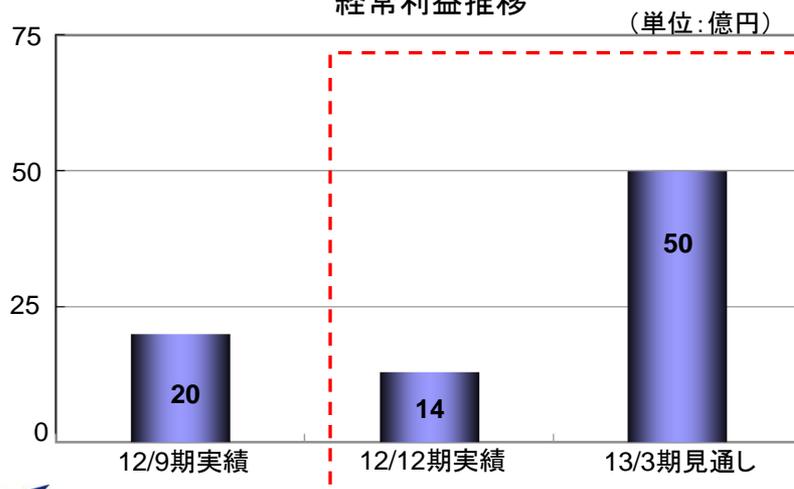
II. 事業セグメント別情報

■ 機械セグメント

本部別売上総利益推移



経常利益推移



主要関係会社業績推移(売上総利益・影響純利益) (単位: 億円)

	(売上総利益)		(影響純利益)	
	11/12期実績	12/12期実績	11/12期実績	12/12期実績
MMC Automotoriz, S.A.	72	69	24	11
双日マシナリー(株)	30	35	4	7
日商エレクトロニクス(株)	69	64	▲ 13	▲ 5

12/12期決算実績(補足)

(単位: 億円)

	11/12期実績	12/12期実績	13/3期見通し
売上総利益	497	475	650
営業利益	52	22	—
持分法による投資利益	21	19	—
経常利益	64	14	50
当期純利益	27	18	30
総資産	—	3,716	—

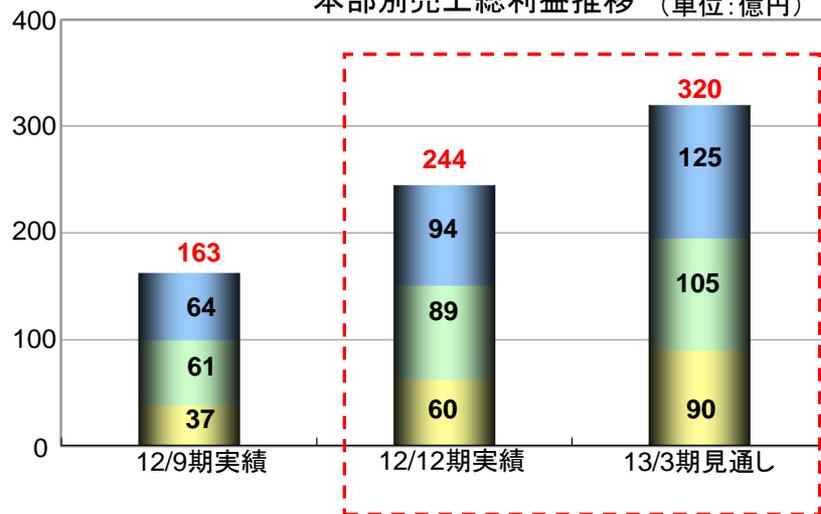
今期の見方

経常利益 12/12期実績 14億円 (通期見通し比進捗率28%)

- 海外の一部地域の自動車事業は好調なるも、プラント関連・IT関連取引の低調な進捗により、全体として通期見通しに対し厳しい進捗

■ エネルギー・金属セグメント

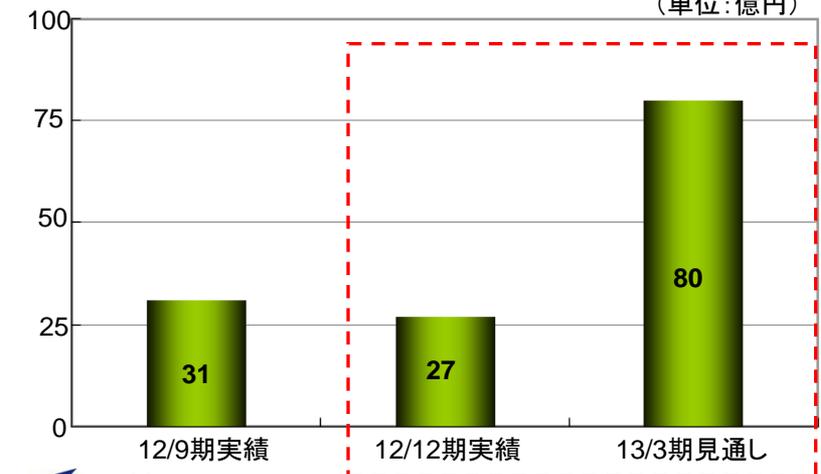
本部別売上総利益推移 (単位: 億円)



■ エネルギー
■ 石炭・原子力
■ 鉄鋼・金属資源

経常利益推移

(単位: 億円)



主要関係会社業績推移(売上総利益・影響純利益) (単位: 億円)

	(売上総利益)		(影響純利益)	
	11/12期実績	12/12期実績	11/12期実績	12/12期実績
Sojitz Coal Resources Pty Ltd.	97	48	67	16
Sojitz Energy Venture Inc.	43	27	26	15
Sojitz Moly Resources, Inc.	3	▲ 12	0	▲ 10

12/12期決算実績(補足)

(単位: 億円)

	11/12期実績	12/12期実績	13/3期見通し
売上総利益	359	244	320
営業利益	167	62	—
持分法による投資利益	56	21	—
経常利益	165	27	80
当期純利益	146	17	30
総資産	—	5,394	—

今期の見方

経常利益 12/12期実績 27億円 (通期見通し比進捗率34%)

- 一部商品の価格低迷等により、通期見通しに対する進捗は低調

■ 化学セグメント

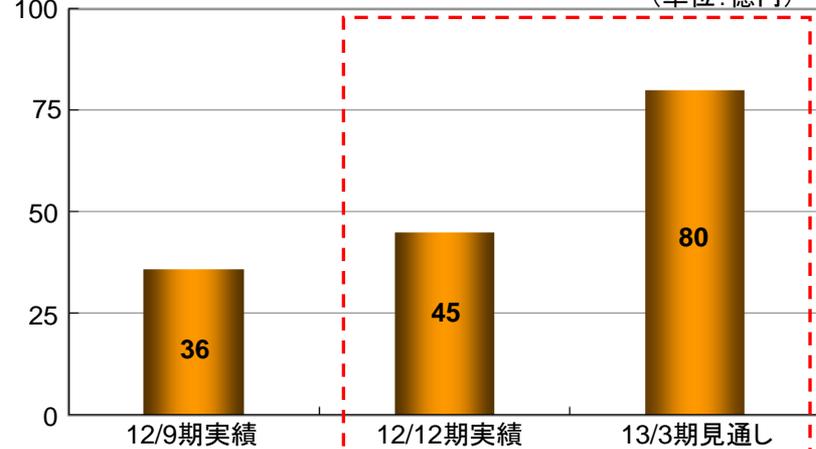
本部別売上総利益推移

(単位: 億円)



経常利益推移

(単位: 億円)



主要関係会社業績推移(売上総利益・影響純利益) (単位: 億円)

	(売上総利益)		(影響純利益)	
	11/12期実績	12/12期実績	11/12期実績	12/12期実績
P.T. Kaltim Methanol Industri	17	16	9	7
双日プラネット・ホールディングス(株)	83	76	▲ 1	▲ 9

12/12期決算実績(補足)

(単位: 億円)

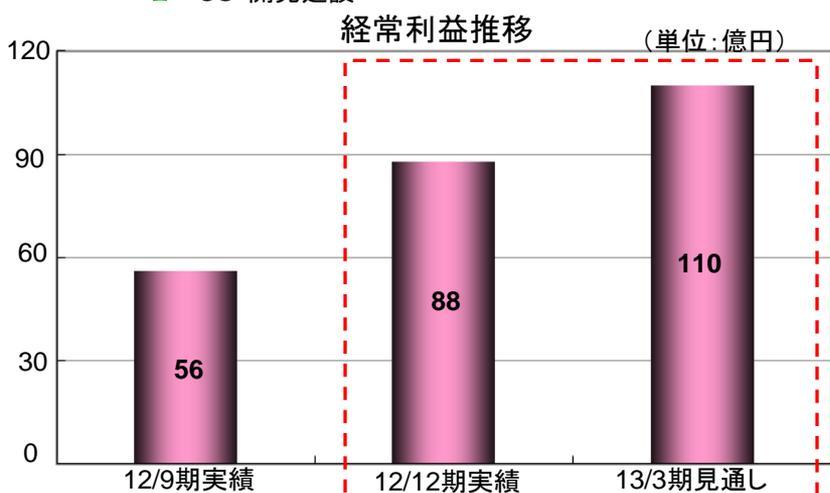
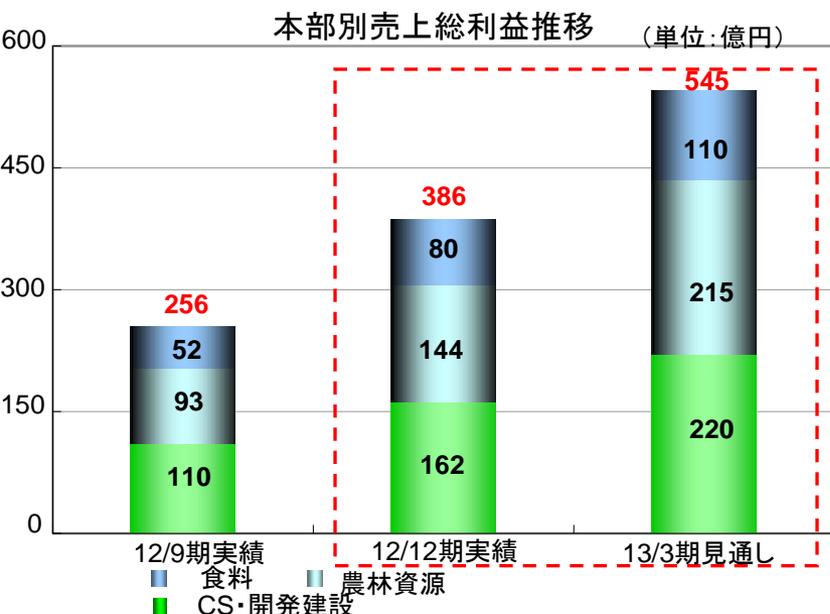
	11/12期実績	12/12期実績	13/3期見通し
売上総利益	297	254	370
営業利益	94	62	—
持分法による投資利益	11	3	—
経常利益	79	45	80
当期純利益	47	19	45
総資産	—	2,562	—

今期の見方

経常利益 12/12期実績 45億円 (通期見通し比進捗率56%)

- メタノール事業は好調に推移するも、その他商品の需要低迷による取扱数量減少が響き、通期見通しに対する進捗は低調

■ 生活産業セグメント



主要関係会社業績推移(売上総利益・影響純利益) (単位: 億円)

	(売上総利益)		(影響純利益)	
	11/12期実績	12/12期実績	11/12期実績	12/12期実績
双日建材(株)	52	44	16	6
双日インフィニティ(株)	29	31	2	▲1

12/12期決算実績(補足)

(単位: 億円)

	11/12期実績	12/12期実績	13/3期見通し
売上総利益	380	386	545
営業利益	110	116	—
持分法による投資利益	11	11	—
経常利益	76	88	110
当期純利益	21	49	60
総資産	—	3,992	—

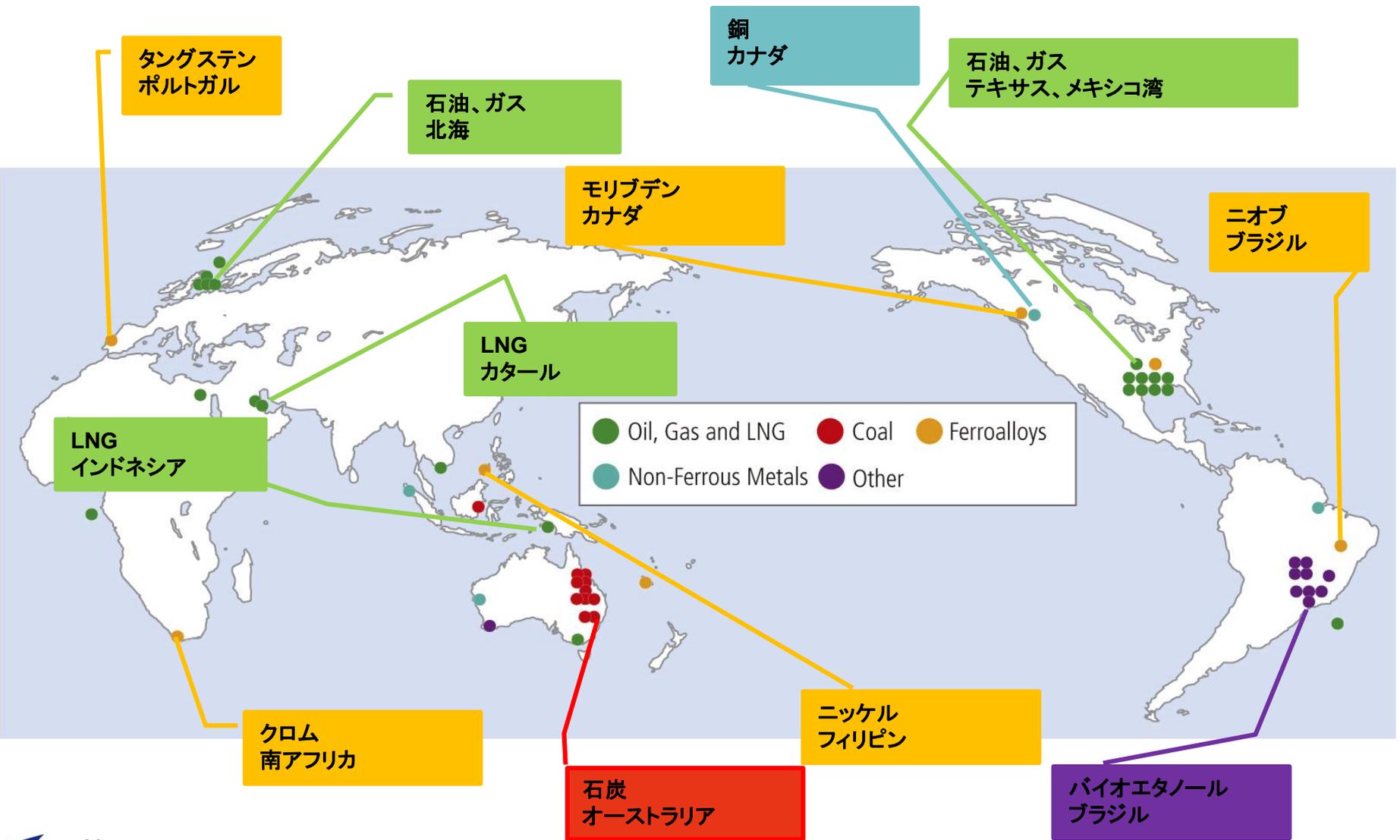
今期の見方

経常利益 12/12期実績 88億円 (通期見通し比進捗率80%)

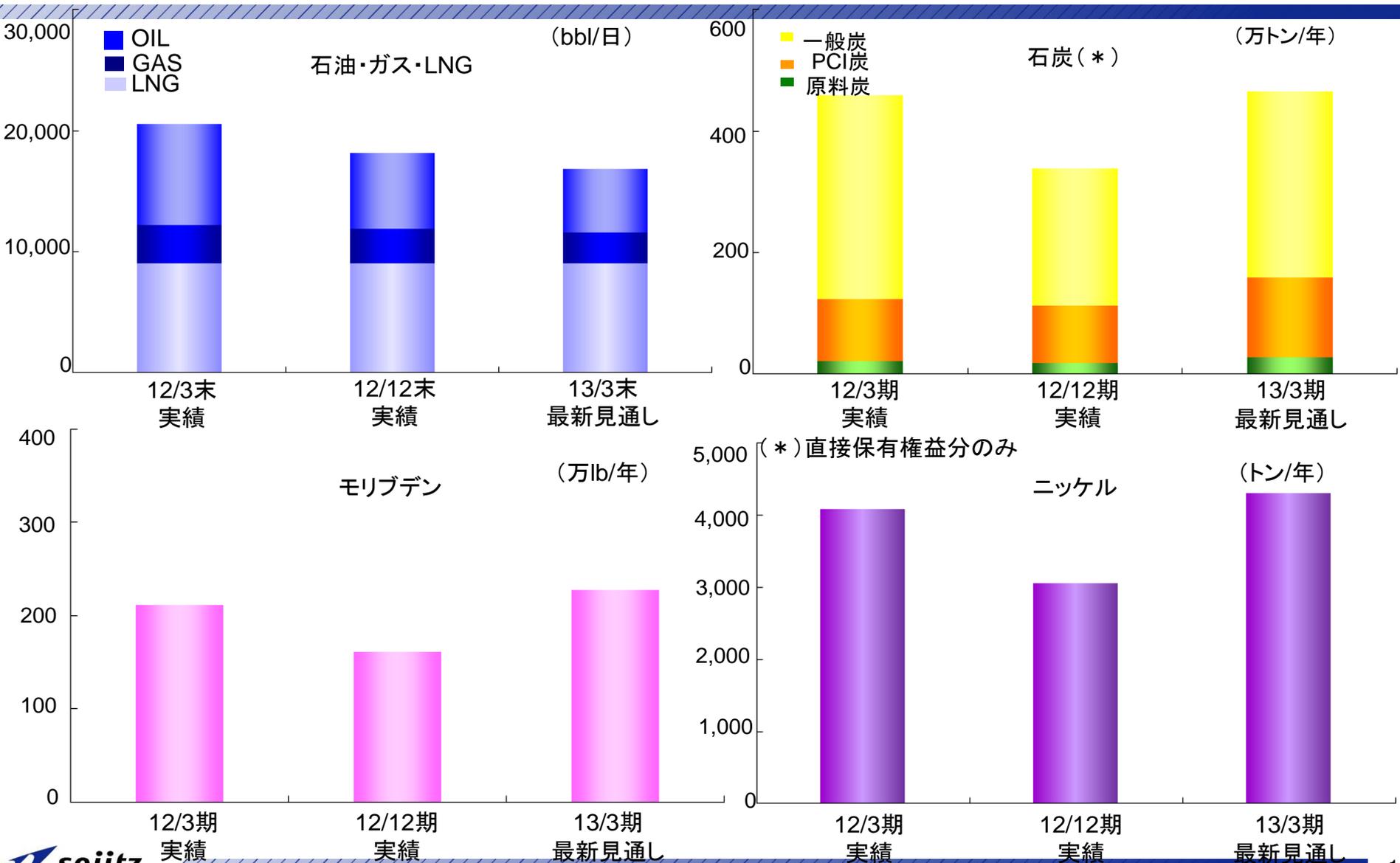
- 海外肥料事業、海外工業団地事業等を中心に堅調に推移

III. 資源関連

主要権益一覽



主要権益持分生産量



IV. 決算実績サマリー

■ P/L推移

(単位:億円)

	08/3期 実績	09/3期 実績	10/3期 実績	11/3期 実績	12/3期 実績(*)	12/12期 実績	13/3期 見通し
売上高	57,710	51,662	38,444	40,146	44,942	29,481	41,000
売上総利益	2,777	2,356	1,782	1,927	2,316	1,411	1,940
営業利益	924	520	161	375	645	237	360
経常利益	1,015	336	137	453	622	198	320
当期純利益	627	190	88	160	▲36	110	100
基礎的収益力	1,107	483	144	419	650	181	335
(ご参考)							
ROA	2.4%	0.8%	0.4%	0.7%	▲0.2%	—	0.5%
ROE	13.0%	4.8%	2.6%	4.7%	▲1.1%	—	3.2%

(*) 当社は連結グループでの適時な業績管理と迅速な経営施策・部門戦略の実行を図るため、主要な海外の連結子会社の決算日を親会社の決算日に統一。決算日変更会社については15ヶ月決算を実施しております。

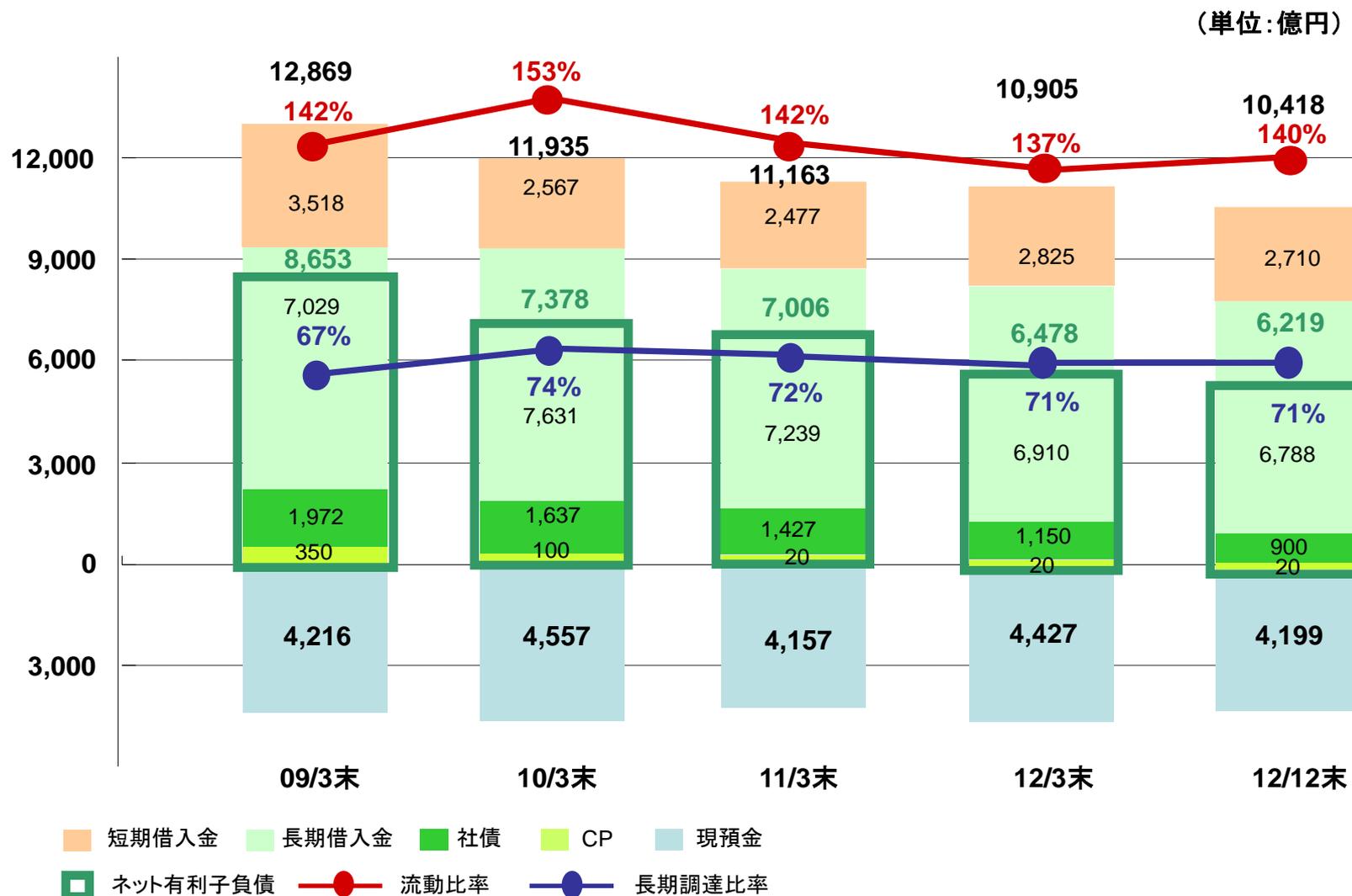
■ B/S推移

(単位:億円)

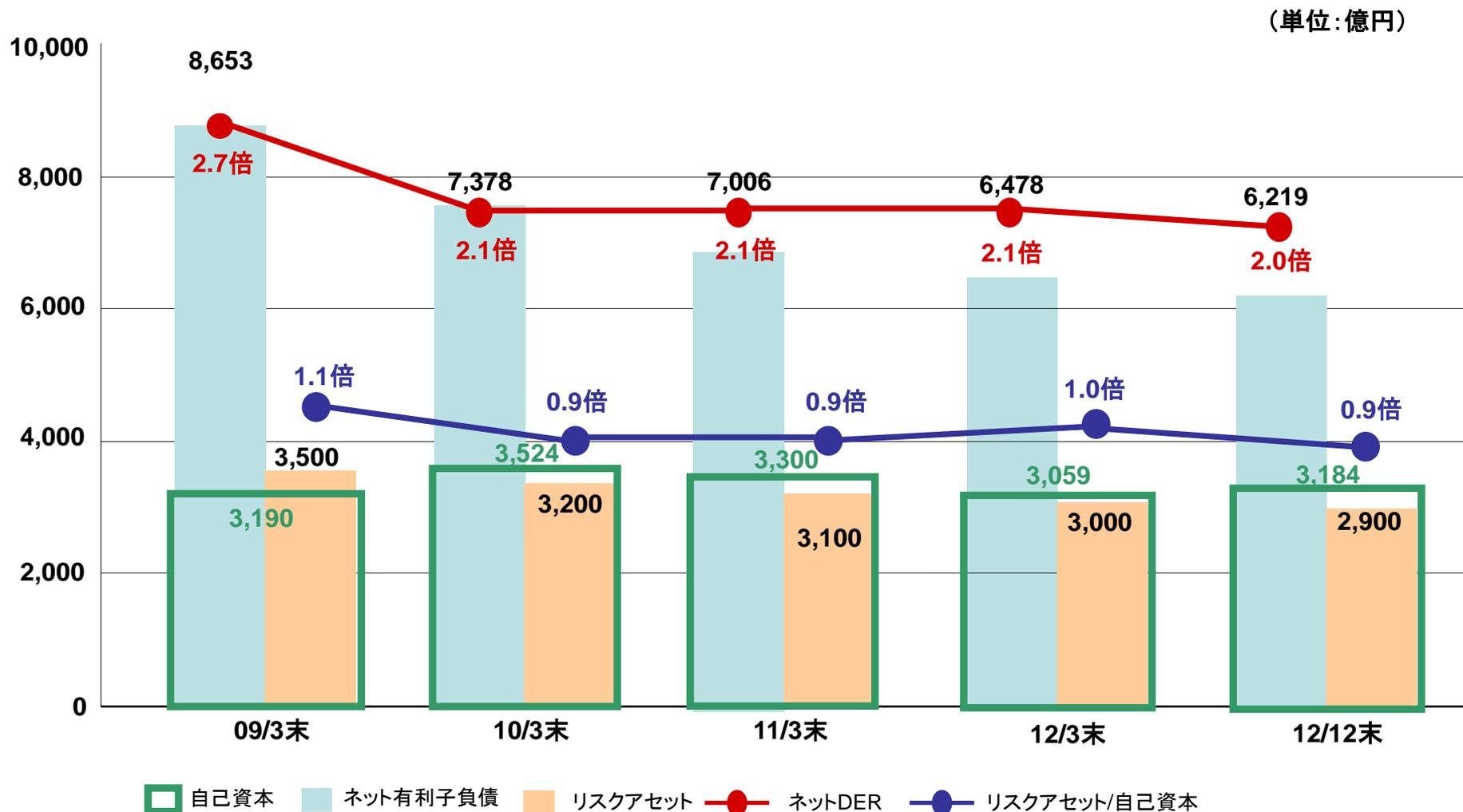
	10/3末	11/3末	12/3末	12/12末		10/3末	11/3末	12/3末	12/12末	
流動資産	12,853	12,667	12,981	12,541	有利子負債	短期	3,068	3,097	3,195	3,030
						長期	8,867	8,066	7,710	7,388
投資、 その他資産	8,756	8,503	8,225	8,002	その他負債	5,900	6,452	6,996	6,668	
資産合計	21,609	21,170	21,206	20,543	自己資本(※) (純資産合計)	3,524 (3,774)	3,300 (3,555)	3,059 (3,305)	3,184 (3,457)	
					負債・純資産合計	21,609	21,170	21,206	20,543	
リスクアセット (自己資本対比)	3,200 (0.9倍)	3,100 (0.9倍)	3,000 (1.0倍)	2,900 (0.9倍)	自己資本比率 (%)	16.3%	15.6%	14.4%	15.5%	
流動比率(%)	153%	142%	137%	140%	ネット有利子負債	7,378	7,006	6,478	6,219	
長期調達比率 (%)	74%	72%	71%	71%	ネットDER(倍) (ネットDER(倍) 純資産合計ベース)	2.1 (2.0)	2.1 (2.0)	2.1 (2.0)	2.0 (1.8)	

(※) 自己資本=純資産合計-少数株主持分

有利子負債推移



■ ネット有利子負債/リスクアセット推移





sojitz

New way, New value